

(資料) 阿部永カワネズミ採集記録 (2000 年~2002 年)

阿部 永ⁱ・加藤 克ⁱⁱ

資料について (解説)

北大大学院博士課程のころ (1958-1960)、日本産食虫類全体の分類の再検討や一般生態を調べることを目的として、その資料採集のための全国旅行をしたことは別に述べた。その中でトガリネズミ類、ジネズミ類、モグラ類などに関しては、一部の希少種以外は多数の標本を採集し、各種の情報を得ることができていた。一方、日本国内で広く分布しているにもかかわらず、自分で唯一標本が採集できていなかったものがカワネズミであった。この時の研究に使ったカワネズミの標本 10 数個体⁽¹⁾は他の研究者からいただいたもので、自分で採集したものは福岡県英彦山で偶然手づかみにした 1 個体⁽²⁾のみであった。このようなことから、カワネズミの野外調査・研究は私にとって長い間の宿題であった。停年退職 (1997 年春) 後の 3 年間ほどは日本産哺乳類頭骨図の作成に力を注いできたが、それも終了したため、再び何か自分自身のやるべき仕事を求めている。そこで考えたのがカワネズミの研究であった。

先ず、これを始めるに当たっては、いつものことながら、その分布域全体から十分な資料収集が必要であると考えた。ただ、学生時代のような TENT を背負っての歩きは不可能であるため、車を使っの旅行を計画した。この当時使っていたのは日産の四輪駆動車テラノであったので、これによる採集・調査を計画した。なお、今回は妻玲子を同伴し、毎日の宿泊所は事前に妻がインターネット上での情報をもとに手配した。(阿部)

本資料は、阿部による解説にあるように、2000 年から 2002 年にかけて実施された阿部のカワネズミ採集調査の記録である。以下の記述は採集ノートを阿部が活字化したものであるが、これまでに刊行した阿部の標本目録には、標本に付属する詳細な採集情報は掲載できておらず、このノートの内容を参照することにより標本情報として重要・有益な情報を提供できること、また標本に付属しない各個体の生息環境などを把握できる記録であることから、過去に発表したネパール調査の採集ノート (阿部・加藤 2014, 2016) と同様に、採集記録に記された個体と現存標本との対応について補記した。阿部の標本目録については、正誤表と合わせ URL (http://www.fsc.hokudai.ac.jp/mk_hunhm/993_datalist.html) から利用することができる。なお、本文記載の追記、写真については本稿では活字化、掲載していない。また、阿部解説にある全国旅行の記録については、別稿での報告を予定しており、未発表である。(加藤)

1. 四国、本州中北部、2000 年 5 月 31 日 -6 月 23 日

5 月 31 日: 23:30 小樽発敦賀行きフェリーすずらんに乗船。

6 月 1 日: 20:30 敦賀港着、国民宿舎つるが荘泊。

6 月 2 日: 敦賀市黒河川上流 (環境省メッシュマップ、Mesh Code (MC): 5336-2074) の東に向かう支流 (alt. 200m) に大型金属製はじきワナ (幅 78.5cm × 長さ 14cm) 16 個セット (餌: はんぺん + ピーナッツバター)。この付近はコナラ、ハンノキなどの林で覆われているが、川に大きな岩は少なくカワネズミのハビタットとしては最良とはいいがたい。午後、永平寺、竹人形館、福井県立博物館を見学後、つるが荘泊。

6 月 3 日: カワネズミ 0、ヒメネズミ 2 頭⁽³⁾ 採集。高速道にて敦賀ー淡路ー鳴門 (大塚国際美術館見学) ー吉野川市川島町神後 (自家泊)。

6 月 4-5 日: 東京へ飛び、環境省環境保全功労賞授賞式 (5 日) 出席後川島へ帰る。

(1) 2000 年以前に阿部が入手したカワネズミ標本は以下の 21 点である。【52024】、【52189】、【52294】、【52354】、【53409】、【53410】、【53411】、【53412】、【53413】、【53414】、【53415】、【53416】、【54424】、【54425】、【54426】、【54427】、【54428】、【54429】、【55260】、【55705】、【56095】。なお、【54428】は計測値データのみである (【 】で括った数字は HUNHM の標本番号である。HUNHM 収蔵以前の阿部による管理時代に利用されていた標本番号 HA は HUNHM の標本番号の冒頭の「5」を取り除いたものになる)。

(2) 【52701】には採集者の記載はないが、2000 年以前に英彦山 (alt. 670m) で採集された標本 (1959 年 6 月 9 日) はこの個体のみである。

(3) HUNHM 所蔵標本に当該日採集のヒメネズミなし。

ⁱ 小樽市桂岡町 26-17

ⁱⁱ 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

- 6月6日：川島―脇町―(高速道)―いよ西条―国道11号―194号にて吉野川上流の葛原川上流、一ノ谷(高知県本川村、alt. 760m)にあるニジマス養殖場で聞き取りを行ったが、この付近でカワネズミらしきものは全く目撃例なし、ただしイタチ、テンは目撃し、イタチは養魚池で魚をとるという。カワネズミの生息可能な溪流があり、非常に条件の良い養魚場があるにもかかわらず目撃例がないことから、カワネズミはいないらしい。2箇所
の溪流に9個のワナセット。養魚場横にモグラ用筒ワナ1ペアセット。西条市あやかね泊。
- 6月7日：一ノ谷ではヒメネズミ1頭⁽⁴⁾のみ捕獲。モグラワナ(コウベモグラのものと思われる穴)でヒミズ1頭⁽⁵⁾
捕獲(尾がかかる)。高速道にて伊予へ。海岸通りをへて佐多岬へ。愛媛県瀬戸町大久の西、MC5032-0184のミ
カン園脇にある径40mmの穴にモグラワナ2セット。三崎町市街裏山のミカン園(MC5032-0069)にてモグラワ
ナ2セット(1つはヒミズ穴?)。三崎町二名津南のミカン園横(MC5032-0171)にモグラワナ1セット。佐田
半島の土壌は赤色粘土質であるが湿度があり、フトミミズが多い。しかし、土壌は浅く、石が多く、急斜面でモ
グラの生息適地は少ない。
- 6月8日：モグラとれず。但しワナ2箇所ミス。多分ヒミズが来たものと思われる。ヒミズは体が小さすぎるため、
ワナが作動してもかからなかったらしい。かかる場合は尾が挟まれる場合が多い。モグラの穴らしい横径40mm
の穴はヒミズのものか? 小型のモグラか? 改めて確認が必要(追記参照)。
三崎より松山道―川内をへて面河へ行き山岳博物館訪問。ここで岡山健二副館長にカワネズミについての情報
を伺ったが、この付近では生息情報はないらしい。
13:30 面河発―川内(松山道)―脇町をへて吉野川市川島町神後 17:30 着(泊)。
- 6月9日：徳島市で買い物。
- 6月10日：6:40 川島発、南海フェリーにて和歌山へ渡り、高野山口から高野山へ。高野山見学後、南側の有田川
上流にある御殿(ミド)川・一の枝川上流(MC5135-2437)にあるスギ幼齢植林地内の細流で、ブッシュのカバー
がよいところにカワネズミ用ワナ12個セット(餌：サツマアゲ、ピーナツバター)。高野町丹生川上流平原の高
木林内の川(MC5135-2571)にもワナ11個セット。かつらぎ町妙寺、かつらぎ旅館泊。
- 6月11日：有田川上流、丹生川上流のワナ捕獲0。川にはサワガニが生息。高野山―橋本―飯高町へ。飯高町櫛田
川上流の木梶川、木梶下方の支流にワナ(餌サツマアゲ)10個、他の細流に5個、舟戸川舟戸下方の細流に5個セッ
ト。飯高町波瀬グリーンライフ山林舎泊。家の裏にてキツネ1頭目撃。地元の釣り人によるとカワネズミはいる
という。しかし、昭和30年代、多数生息していたヒナマズは全くいなくなったという。ドンコもいなくなった。
櫛田川上流は大改変され、集落周辺の溪流まで三面張りのコンクリート水路にされている。また、護岸コンクリー
トも多い。カワネズミが棲めそうな川は非常に少なく、ワナ設置場所を探すのに苦労した。
- 6月12日：カワネズミ全くとれず。波瀬―(166号道)―勢和多気―(伊勢自動車道・東名阪道)―名古屋―小牧
―(中央道)―長野・諏訪―霧ヶ峰。
諏訪市霧ヶ峰農場西の川及びその支流(MC5438-0162, alt. 1,280m)に各10個、計20個のワナセット(餌、サツ
マアゲ、ピーナツバター)。周辺はすべてカラマツ林、河畔広葉樹林で覆われている。またその下流(MC5438-0161,
alt. 1,200m)に10個セット。上諏訪荘泊。
- 6月13日：カワネズミ0、ヒメネズミ6、アカネズミ3、スミスネズミ1⁽⁶⁾。この付近の林は一度完全に伐採され、
アカマツ、カラマツの植林地にされたところで、河畔にヤナギ、シナノキなどが生えているが低木が多く、林が
回復しつつある。斜面は全面植林地で、川そのものは比較的良いが、カワネズミはいないらしい。諏訪―(甲府
高速道)―八王子―埼玉・飯能市勝占(玲子兄)家泊。車を預ける。
- 6月14日：東京へ。上野の国立博物館、動物園見学。17:30-19:00:長尾自然財団評議会出席。渋谷、東急イン泊。
- 6月15日：渋谷―飯能市。車を受け取り―東北道岩槻―宇都宮―日光(東照宮見学)―宇都宮―西那須野、松村雄(北
大理学部動物出身、1968年北大ヒマラヤ調査で同行)宅泊。
- 6月16日：西那須野―矢板―日光―沼田―(関越道)―新潟・小出―湯之谷村折立(ゆのたに荘泊)。
信濃川支流佐梨川支流、芋川上流 alt. 280m (MC5539-6032)にワナ(餌、サツマアゲ、ピーナツバター)23個セット。
川は苔むした岩が多く、杉林、広葉樹でおおわれ、落ち込みが多いAa型。カワネズミのハビタットとしては良好。

(4) HUNHM 所蔵標本に当該日採集のヒメネズミなし。

(5) HUNHM 所蔵標本に当該日採集のヒミズなし。

(6) HUNHM 所蔵標本に当該日採集のヒメネズミ、アカネズミ、スミスネズミなし。

6月17日：芋川上流、カワネズミ0、ヒメネズミ2、アカネズミ1⁽⁷⁾。ナガレ(?)ヒキガエル1。ワナ23個そのままセット。更に芋川上流ダムの上(MC5539-6032)にワナ10個(餌は川において網ですくい取ったイワナに変更)、網筒ワナ2個セット。ワナのセット中、すぐ横の斜面にてカモシカ1頭目撃、同じ個体と思われるものを夕方にも目撃。広神村三つ叉、羽根川の2支流(MC5539-6075, alt. 230m)にワナ(餌、イワナ)10個セット。川には倒木あり。

6月18日⁽⁸⁾：芋川最上流、alt. 380m(MC5539-6032)のワナ(イワナ餌)にてカワネズミ♂1⁽⁹⁾が得られた。この川は広葉樹林におおわれ、川の石にはスゲが生えており(安定した川)、イワナ、ヒキガエル、アカガエルsp.がおり、環境は良好。羽根川三つ叉の右岸細流でもカワネズミ♀1頭⁽¹⁰⁾採集。この細流は耕地の横にあるがやはり広葉樹で覆われた比較的良好なAa型河川。標本を作り、帰宅する玲子新潟空港(高速道小出-新潟空港)へ送った後、磐越道、津川をへて上川村広谷へ行き、あすなろ荘泊。(特記：これまで2週間余、使用したワナの餌が悪く、目的のカワネズミは全くとれなかったが、餌を魚肉に変えたとともに普通にとれ始めた。今後は魚肉に変更)。

新潟県上川村、阿賀野川の支流、常浪川のさらなる支流、御番沢川上流、alt. 280m(MC5639-3332)にワナ(餌、アジ)7個、少し下流、alt. 140m(MC5639-3333)に8個、さらに下流の支流、alt. 130m(MC5639-3323)に10個セット。この流域はいずれも広葉樹林で覆われ、特にオニグルミの原木が多い。

6月19日：上川村御番沢川上流の支流(MC5539-3332)にてカワネズミ2頭⁽¹¹⁾(♂)、少し下流の支流(MC5639-3333)にて2頭⁽¹²⁾、更に下流の支流(MC5639-3323)でも1頭⁽¹³⁾が得られた。御番沢川には少なくとも各支流にカワネズミが生息しているらしい。ワナの餌にアジの肉を使ったが、やはり魚肉を使えば確実に記録出来ることが明らかになった。

12:00 発 津川インター(磐越道)ー郡山ー(東北道)ー岩手・花巻。花巻市国民年金保養センター泊。花巻温泉付近では川に水がなく、ワナかけ場所なし。時間なく、山に入れないため、ワナかけ断念。

6月20日：花巻ー(東北道・八戸道)ー青森・野辺地。ビジネスホテル関乃尾泊。青森・東北町の清水目川上流の北ノ股沢と心棒沢分岐付近、(1)：MC6141-1073, alt. 150mの広葉樹に覆われたところにワナ10個セット(餌チカ)；(2)：少し下流の広葉樹に覆われたやや良好な支流、MC6141-1075, alt. 120mに10個；(3)：添の沢の中流(スギ植林地内)、MC6141-1086, alt. 140mに5個；(4)：添の沢上流(広葉樹林内)、MC6141-1094, alt. 220mに5個；(5)：添の沢中流、ステノ沢林道起点、MC6141-1085, alt. 160mに10個セット。いずれも河畔はオニグルミ、カシワ、ヤナギ、ハンノキなどの広葉樹で覆われる。川中の岩は比較的少ない。カワネズミのハビタットとして最良ではないが、(2)の細流は良いハビタット。

6月21日：清水目川上流の2箇所(1,2)ではカワネズミとれず。この流域では下流側に大きな清水目ダムが作られ、周辺の林も悪いためカワネズミはとれなかった。この付近の支流の溪流にはよいハビタットがあるにもかかわらず、全体として林相(低木林)も悪い。一方、更に下流の添の沢は比較的良好で、(3,4,5)で各1頭ずつ⁽¹⁴⁾のカワネズミがとれ、(3,5)ではアカネズミも各1頭⁽¹⁵⁾採集。この沢は大部分スギの壮齢林であるが、河畔には広葉樹がある。川は平瀬が比較的が多いが、周辺の森林が良好で、ダムもないことからカワネズミが見られるものと思う。

六ヶ所村老部(オイベ)川上流：水源涵養林で、スギ造林地、ミズナラ、ハン、ホオ、オニグルミなどの広葉樹河畔林が発達し、川は良好、MC6141-3296, alt. 50mにワナ5個(餌チカ)。上流のMC6141-4236, alt. 170mに10個セット。

(7) HUNHM 所蔵標本に当該日採集のヒメネズミ、アカネズミなし。

(8) 6月18日、新潟県湯之谷村採集のヒミズ【58832】が所蔵標本中に確認されるが、手帳に記載なし。

(9) 【56155】。

(10) 【56156】。

(11) 【56159】、【56160】。この2個体と同じ場所で捕獲されたアカネズミ【56166】、【56167】が確認されるが、手帳に記載なし。

(12) 【56157】、【56158】。

(13) 【56161】。

(14) 調査地(3)【56164】、(4)【56162】、(5)【56163】。

(15) 所蔵標本中に当該日採集のアカネズミは【56168】、【56169】の2個体確認される。【56168】にはMC6141-1086の記載があることから、調査地(3)採集標本である。【56169】にはMC6141-1085の記載があり、調査地(5)の採集標本とみられる。ただし、いずれの標本も採集地記載が「添ノ沢上流」となっており、手帳の記載と合致しない。

横浜町平山沢、ヒバ保存林、カエデ、サワグルミ、ミズナラなどの原生林内、MC6141-4296, alt. 220m にワナ 10 個 (餌チカ)。更に下流の本流、MC6141-5205, alt. 150m に 5 個セット。上流はヒバ原生林で、大径木があり、それにカエデ、ミズナラ、サワグルミなどの広葉樹が混ざり、林は良い。しかし道路沿いの川付近は伐開のためカバーがなく、カワネズミのハビタットとして不良の部分が多くなっている。しかし、周辺は全体として良好な森林が保存されており、東北町の清水目川流域とは異なり、全体としては良い環境。

6 月 22 日：老部川上流 (MC6141-4236) は環境が良いにもかかわらずカワネズミはとれなかった。単にチャンスの問題か。下流の MC6141-3296 は大きな淵と瀬がある川で、流木なども一部にあり、このような大きな流れでもカワネズミが 1 頭⁽¹⁶⁾ とれた。これは河畔の森林のカバーが良好であるためか。一方、平山沢は川の環境が良いにもかかわらず川の横に道路が作られ、その部分の林が伐開されているため、カワネズミはとれなかったらしい。その支流の細流は良好なものであったが、本流との合流部が開けているためかカワネズミはとれなかった。MC6141-5205 でアカネズミ 1 頭⁽¹⁷⁾ 採集。

風間浦村目瀧川中流、(1)：MC6240-1778, alt. 50m 周辺はスギ壮齢植林地で、河畔には広葉樹林があり、川には砂防ダムが多く、平瀬が多いところにワナ 5 個 (餌チカ)、細流沿いに 5 個、(2)：更に同じ MC 区内の下流側、シャクナゲ植栽地横に 10 個セット。(3)：易国川支流、周辺はスギ林、河畔は広葉樹でよくカバーされたところ (MC6241-1060) にワナ 10 個、(4)：少し上流の大きな支流 (MC6241-1050) に 10 個セット。この川も河川改修で河床改変が進行中。

6 月 23 日：カワネズミ全くとれず。(2) にてアカネズミ 2 頭⁽¹⁸⁾ 採集。ワナかけした付近は砂防ダムが多く、あるいは工事中であるためかカワネズミはいない。

11：30 大間よりフェリーで函館へ。

2. 九州、2001 年 4 月 13 日 -20 日

4 月 13 日：千歳 14:00 -福岡 16:30。レンタカーにて九州道一大分道一杷木一英彦山 18:30 着。国民宿舎ひこさん泊。

4 月 14 日：英彦山、鷹巣山北西 (添田町山口)、MC5030-1784, alt. 580m スギ植林地内の岩の多い Aa 型溪流にワナ (餌アジ肉) 14 個セット。野峠北西、犀川町、MC5030-1796, alt. 550m、スギ植林地内の Aa 型溪流、カワネズミのハビタットとしてはやや悪いところにワナ 10 個セット。耶馬溪一青の洞門一日田一小石原一英彦山、ひこさん泊。

4 月 15 日：英彦山、カワネズミ 0。英彦山一杷木一松橋一砥用一二本杉一熊本・泉村。

泉村谷内、MC4830-6773, alt. 1,040m スギ植林地内の河畔に広葉樹のある Aa 型小沢にワナ 19 個セット。五家荘樅木しゃくなげ荘泊。(川辺川上流は両岸が急峻な峡谷のためカワネズミの棲息環境比較的に少ない)。

4 月 16 日：泉村谷内、カワネズミ 0、ヒミズ 1 頭⁽¹⁹⁾、ヒメヒミズ 2 頭⁽²⁰⁾ 採集。泉村下屋敷上側 MC4830-6725, alt. 630m の小沢にワナ 12 個；MC4830-6783, alt. 1,050m、広葉灌木・アカマツ混林中の谷内川の Aa 型溪流に 11 個、すぐ下側の養魚場付近に 3 個セット。また、MC4830-6721, alt. 700m の椎原北方、せんだん轟滝下流付近 (大型岩が多い) に 4 個、滝の上流側に 10 個セット。更に MC4830-6730, alt. 970m、轟滝最上流の Aa 型溪流に 5 個セット。泉村椎原、観山閣泊。

4 月 17 日：MC4830-6730、轟滝最上流にてカワネズミ 1 頭⁽²¹⁾、ヒメヒミズ 1 頭⁽²²⁾ 採集。MC4830-6721、轟滝下側にてカワネズミ 1 頭⁽²³⁾ 採集。椎原、alt. 530m の路上にてコウベモグラの死体⁽²⁴⁾ (新) 拾得。泉村一二本杉一砥用一松橋一 (高速道) 一八女一福岡・矢部村。矢部村御側川最上流、MC4930-6619, alt. 800m の Aa 型、岩の多い本流に 6 個；MC4930-6608, alt. 550m、北方に向かう、岩が多く、木のカバーの良い Aa 型支流に 10 個、そのすぐ下の Aa 型本流に 12 個セット。矢部村杣の里、ソマリアンハウス泊。

(16) 【56165】。

(17) 【56170】。ただし、標本の MC 記載は「6141-5202」となっている。

(18) 【56171】、【56172】。

(19) 【56175】。

(20) 【56176】、【56177】。

(21) 【56179】。

(22) 【56178】。

(23) 【56180】。

(24) 【56181】。

4月18日：カワネズミ0。MC4930-6608、矢部村御側の歩道上でジネズミ死体⁽²⁵⁾拾得。

星野村板屋上、星野川最上流部（Aa型）、MC4930-6636, alt. 620mにワナ12個、星野村柳の小沢、MC4930-6645, alt. 500mに8個、熊渡川最上流、MC4930-6677, alt. 640mに19個、滝の脇下、MC4930-6665, alt. 420mに5個セット。星野村、星の文化館泊。

4月19日：カワネズミ0。いずれの溪流も砂防ダムが分断し、コンクリート張りが多く、カワネズミの棲息のための連続したハビタットが非常に少ないことが棲息していない原因か。星野―矢部―小国―阿蘇―熊本―高速道―福岡。博多東急ホテル泊。

4月20日：10：35 福岡―札幌（ANA）

3. 東北地方、2001年7月22日-8月1日

7月22日：ホンダCRVにて銭函―苫小牧24：00フェリー乗船。

7月23日：9：30 青森・八戸着。八戸―（高速道）―盛岡―岩手・川井村箱石。

矢田川、MC5941-3541のBb型川の岸に大型ハジキワナ（餌イワシ）10個セット（砂防ダム2箇所あり）。

MC5941-3561の折壁川（Bb型）に5個セット。この川は樹冠に覆われているが岩は少ない。岩手・新里村、MC5941-3696の二又沢上流（Bb型）の右沢に10個、左沢に4個セット。MC5941-3667、ミソソナイ（未孫内）橋付近に10個セット。この付近はいずれの川も樹冠で覆われているが岩は少なく、平瀬多し。カワネズミのハビタットとしては必ずしも良くない。淵が少ない。（矢田川も同様）。

7月24日：新里村、MC5941-3667にてカワネズミ1頭⁽²⁶⁾採集。この付近のみ川に岩少しあり。岩手・川井村、MC5941-3541にてカワネズミ2頭⁽²⁷⁾、アカネズミ1頭⁽²⁸⁾採集。川は樹冠で覆われ、岩少なし。MC5941-3561にてカワネズミ1頭⁽²⁹⁾採集。ここは樹冠で覆われた山地溪流型。

午後、北大地環研・鈴木仁研究室の川窪さんと盛岡市上米内で落ち合い、モグラ採集指導。モグラワナを川窪11ペア、阿部6ペアセット（上米内8、至沢9）。カワネズミワナは時間なく、セットなし。

7月25日：上米内、MC5941-4196にてアズマモグラ1頭、ヒミズ1頭；至沢、MC5941-4185にてアズマモグラ4頭採集。いずれも川窪さんの標本とする。上米内-大槌町。

大槌町種戸、MC5941-0655の岩の多い川にワナ8個；MC5941-0654の岩の多いAa型川にワナ6個；MC5941-0663の大岩の多いAa型川に9個；MC5941-0675の岩の多いBb型川に8個セット。川窪さんはモグラワナ10個セット。夜、地元の佐々木氏ほか2名と会食。

7月26日：大槌町ではカワネズミ全くとれず。川窪さんはアズマモグラ1頭捕獲。川窪さんと別れ宮城・志津川へ。志津川町西戸、折立川支流、Bb型、MC5741-7353にワナ8個セット。同メッシュ内500m上流に8個セット。この川の下流には水なし。在郷、水戸辺川上流の樹冠で覆われた、岩の少ないBb型川、MC5741-7335に10個セット。MC5741-7334の砂防ダム下、平瀬、適度に岩のあるBb型川に10個セット。

7月27日：MC5741-7334にてカワネズミ1頭⁽³⁰⁾採集、モクズガニによるワナの空落ち3個あり。MC5741-7353ではアカネズミ3頭⁽³¹⁾のみ。玲子、仙台から夜行列車で帰宅。志津川―山形・八幡町。八幡町大俣川相の又沢、MC5840-3068にワナ（餌ドジョウ）5個；MC5840-3057に7個；大俣川支流の白玉川中流、MC5840-3036にある平瀬ばかりで岩は少ないが樹冠で覆われたBb型川に5個（餌ドジョウ）セット。大俣川は本流も川岸は樹冠で覆われ、岩も多くカワネズミのよいハビタット；大俣川支流のAa型大芦沢川（岸はイタドリや樹冠で覆われる）、MC5840-3062に10個；さらにその上流の完全なAa型溪流、MC5840-3072に10個セット。車中泊。

7月28日：MC5840-3072、MC5840-3062、MC5840-3036にてそれぞれカワネズミ1頭ずつ⁽³²⁾、計3頭採集。八幡町―新潟・村上市。

(25) 【56182】。

(26) 【56188】。

(27) 【56185】、【56186】。

(28) 【58833】。

(29) 【56187】。

(30) 【56189】。

(31) HUNHM所蔵標本に当該日採集のアカネズミなし。

(32) 順に【56190】、【56191】、【56192】。

村上市大栗田、MC5739-2408 にある、樹冠で覆われるが岩のほとんどない平瀬の小川に 9 個(餌ドジョウ)；上流、赤沢川の Bb 型平瀬で、倒木あり、川岸にヨシの多いところ、MC5739-2510 に 5 個；関川村千刈、藤沢川支流・カラキ沢の岩多く、樹冠良好の場所、MC5739-1487 に 10 個セット。車中泊。

7 月 29 日：MC5739-2510 にてカワネズミ 1 頭⁽³³⁾ 採集。村上一新潟港、9:30 フェリーで佐渡両津市。両津市北河内、極楽寺付近の河畔広葉樹・ヨシ植生地、MC5738-1301 にトガリネズミ用ピットフォール 20 個、金井町安養寺西の河畔スギ林、MC5738-0370 にピットフォール 20 個セット。車中泊。

7 月 30 日：トガリネズミとれず。両津 6:30 フェリーで新潟 8:50 秋田・本庄市。

本庄市北部の股の川は上流までコンクリート三面張り、最上流 100m ほどが自然河川、その上に 2 つの砂防ダムがあり、ダム下、MC5940-0161 にワナ(餌ドジョウ) 5 個セット；MC5940-0151 の水田横にあり、低木、草本で覆われた自然河川に 8 個セット；南ノ股小友川上流、砂防ダム下にあり、岩が比較的多く、樹冠で覆われた比較的よいハビタット、MC5940-0142 に 11 個セット；同川上流の MC5940-0143 に 5 個セット。

7 月 31 日：カワネズミ 0。本庄市・田代町。岩瀬川支流、板沢の樹冠で覆われ、岩が適度にある川岸、MC6040-4347 に 5 個；同じメッシュ内上流に 6 個、更に MC6040-4356 に 4 個；平戸(ヒト)内沢、MC6040-4338 に 6 個；同沢上流、MC6040-4349 に 3 個；MC6040-4411 の岸はヨシ、樹木で覆われるが、岩が全くない平瀬の川に 5 個セット。午後、激しい降雨で、川は濁流となる。これはこの沢の源流部一帯が牧草地となっているためか。車中泊。

8 月 1 日：川の増水によってワナが流され、29 個のうち 6 個が回収できたのみ。カワネズミ全くとれず。青森へ行き、7:30 発フェリーに乗り、17 時帰宅。

4. 福岡・佐賀・島根、2001 年 11 月 30 日 -12 月 7 日

11 月 30 日：札幌千歳ー福岡。レンタカーにて英彦山、しゃくなげ荘泊。

12 月 1 日：添田町汐井川上流、MC5030-1762, alt. 450m にあるスギ造林地内の岩の多い Aa 型河川にカワネズミ用ワナ(餌チカ) 12 個セット；英彦山、MC5030-1772, alt. 550m のスギ林内、汐井川支流(Aa 型)に 15 個セット；添田町山口、今川源流、MC5030-1784, alt. 580m のスギ林内 Aa 型河川に 15 個セット。いずれの場所も良好なカワネズミハビタット。

12 月 2 日：英彦山ではカワネズミ全くとれず。いずれの川もハビタットとしては良好で、本州北部であれば必ず棲息が見られるようなところ。従って現在では棲息の可能性少な(1959 年 6 月、ここでの食虫類採集時、手づかみにより 1 頭⁽³⁴⁾ 捕獲したが、これが唯一最後の記録か?)。

12 月 3 日：福岡・背振山東部、板尾、MC5030-1320, alt. 660m のスギ林内、河畔に広葉樹のある那珂川上流、Aa 型河川にワナ 21 個(餌チカ)；佐賀・背振山、筑後川支流の城原川上流、MC5030-1209, alt. 690m のスギ林内、河畔に広葉樹のある Aa 型河川に 17 個セット(上流側に高さ 10m ほどの砂防ダムあり)。佐賀・神崎町国民年金会かんざき泊。

12 月 4 日：MC5030-1320、カワネズミ 0；佐賀背振山、城原川上流、MC5030-1209 にてカワネズミ ♀ 1⁽³⁵⁾ 採集。有田市九州陶磁文化館見学。かんざき泊。

12 月 5 日：神崎ー島根・柿木村小峰峠。小峰下、小峰谷川最上流、MC5131-3674, alt. 660m の河畔に広葉樹のある Aa 型川にワナ 20 個(餌アジ)セット；MC5131-3684, alt. 620m の小峰谷川支流(環境は前者とほぼ同じ)に 20 個セット。津和野青野山山荘泊。

12 月 6 日：MC5131-3674 にてカワネズミ ♂ ♀ 2 頭⁽³⁶⁾ 採集；MC5131-3684 にてカワネズミ ♀ 1 頭⁽³⁷⁾ 採集。萩へ行き、観光後、再び柿木村へ。原田旅館泊。

柿木村小峰谷川本流の上流域は人工河岸が少なく、広葉樹河畔林もあり、比較的良好なカワネズミハビタット。alt. 620m 以下の支流は河床にコケが多く、比較的良好なハビタットであるが、岩が少なく、Bb 型または Bc 型で、岸に岩が少ないためカワネズミの長期定着は難しいと思われる。上流域の支流には普通に棲息している可能性が高い。最上流の MC5131-3674 では 100m ほどの流域に 20 個のワナをかけたが、ワナ列の中間で ♀ 1 頭、最上流

(33) 【56193】。

(34) 前掲注 (2) 参照。

(35) 【57660】。

(36) 【57661】 ♂、【57662】 ♀、後述のナワバリに関する考察で示された 2 個体はこれらの標本である。

(37) 【57663】。

で♂1頭が採集できた。カワネズミが個体毎のナワバリをもつと仮定すれば、ナワバリの range length は何百メートルもあるのではなく、100m 以内か？ 今後ワナ列の長さを増やして採集してみる必要がある。

12月7日：柿木村原田旅館 7：30 発－広島空港 11：05 発－札幌へ。

5. 本州中部 10 県、2002 年 4 月 8 日 -25 日

4月8日：苫小牧東港 20：45 発敦賀行

4月10日：敦賀 4：30 着。北陸道一福井・今庄町。今庄町、田倉川、(1) MC5336-5267, alt. 280m のササ、灌木に覆われた Bb 型支流（幅 2-4m）にカワネズミ用ワナ（餌チカ）8 個セット；(2) MC5336-5267, alt. 280m のスギ・広葉樹混交林内 Aa 型支流（幅 2-3m）に 17 個セット；(3) MC5336-5266, alt. 280m の同様の川に 13 個セット；(4) MC5336-5266 内下流の同様の支流にワナ 9 個セット；(5) 南条町中小屋上、阿久和川上流、MC5336-5260, alt. 200m のスギ高木林内、幅 1-4m の Bb 型川に 15 個セット（あまり良いハビタットではない）。

武生市入谷町、MC5336-6253、広葉樹林内にて小型ニホンリス 1 頭目撃。また、今庄町田倉川上流、MC5336-5266 にてカモシカ 2 頭（1 頭が他を追って道路上に出てきたもの）を目撃、さらにギフチョウ 2 頭も目撃。南条町中小屋、花はす温泉、そまやま泊。

4月11日：今庄町、(1)、(2)、(4) ではカワネズミ 0；(3)、MC5336-5266 にてカワネズミ♀ 1 頭⁽³⁸⁾ 採集（4 支流の内最も溪流的で、狭く急な支流）；(5) ではカワネズミ 0、アカネズミ♀ 1 頭⁽³⁹⁾ 採集、林道上にてヒミズ死体⁽⁴⁰⁾ 拾得。(6) 京都市能見川支流、MC5235-7612, alt. 480m にあるスギ・広葉樹に覆われた幅 0.5-1m の Aa 型川（100m 上に 6-7m のダムあり）に 6 個セット；(7) MC5235-7612, alt. 500m にある (6) 同様の川に 15 個セット；(8) 能見川上流、MC5235-7613, alt. 580m にある、広葉樹が伐採された明るい Aa 型支流に 8 個；(9) 大谷川最上流、MC5235-7614, alt. 480m の岩の多い、幅 0.5-2m の Aa 型川に 5 個；(10) 同上、下流、alt. 460m のスギ高木林内の Aa 型川に 15 個；(11) 同上、下流、alt. 430m の同様の川に 5 個セット。滋賀・朽木村柏、グリーンパーク憩いの森泊。

4月12日：(6) ～ (11) ではカワネズミ全くとれず。朽木一和歌山・中辺路町近露。(12) 近露関の平、MC5035-5478, alt. 320m スギ林内の急流の支流（幅 0.3m）に 3 個；(13) 近露日置川支流、MC5035-5488, alt. 300-340m にある岩の多い Aa 型川に 17 個セット。中辺路町近露、月の家泊。

4月13日：(12)、(13) ではカワネズミとれず。(14) 中辺路町小松原、MC5035-6423, alt. 350m の広葉樹林内、Aa 型小支流に 17 個（餌キビナゴ）；(15) 小松原、富田川水系、中川の Aa 型支流の源流（大きな岩多し）、MC5035-6423, alt. 300m に 20 個；(16) 龍神村友、日高川水系、丹生・Aa 型支流、MC5035-6487, alt. 500m に 5 個；(17) 奈良・十津川村川俣、日高川水系丹生ノ川源流、MC5035-6499, alt. 570m のスギ・広葉樹林内 Aa 型川に 15 個；(18) 十津川村古谷川、熊野川水系上湯川源流、MC5035-7511, alt. 550m の広葉樹に覆われた Aa 型川に 14 個セット。ワナかけ中、15 時頃カワネズミを目撃し、直後に 1 頭⁽⁴¹⁾ 採集。玲子大阪の友人、栄花さん宅へ行く。車中泊。

4月14日：(14) ではカワネズミ 0；(15) と (16) にてカワネズミ各 1 頭⁽⁴²⁾；(17) にてカワネズミ 2 頭⁽⁴³⁾、(18) にてカワネズミ 5 頭⁽⁴⁴⁾ 採集。(19) 中辺路町下ノ川、日置川水系小合川支流、MC5035-5446, alt. 250m の広葉樹・スギに覆われた川にワナ 17 個セット；(20)、(19) の下流側、同川に 20 個セット。車中泊。

4月15日：(19)、(20) は 1-4m の岩が多く、カワネズミのハビタットとしてかなり良好で、400m ほどの範囲にワナかけしたにもかかわらず捕獲 0。川の両側がスギ、ヒノキ造林地のため絶滅か？ 源流域でないと棲息しないのか？ (21) 三重・飯高町木屋谷川下流、MC5136-4141, alt. 440m の広葉樹・スギ林内 Aa 型川にワナ 19 個セット（下流 250m に 7-8m の砂防ダム）。(22) MC5136-4141, alt. 450m で (21) のすぐ上流側の Aa 型、大岩の多い川に 20 個セット。飯高町香肌峡ホテル、スメール泊（玲子合流）

(38) 【57664】。

(39) 【57691】。

(40) 【57687】。

(41) 【57665】。

(42) 調査地 (15) 【57673】、調査地 (16) 【57674】。

(43) 【57671】、【57672】。

(44) 【57666】、【57667】、【57668】、【57669】、【57670】。

(45) 【57675】、【57676】、【57677】。

- 4 月 16 日：(21) カワネズミ 0；(22) にてカワネズミ 3 頭⁽⁴⁵⁾ 採集。三重・飯高町ー静岡・龍山村。(23) 龍山村小平川下流、MC5237-3665, alt. 160m の広葉樹に覆われた Aa 型川にワナ 11 個；(24) 龍山村西川、白倉川下流、MC5237-3655, alt. 100m の Aa 型川にワナ 12 個セット。龍山村総合センター泊。
- 4 月 17 日：(23) カワネズミ 0；(24) にてカワネズミ 1 頭⁽⁴⁶⁾ 採集；(25) 岐阜・恵那市飯沼川支流の上流、保古ノ湖下、MC5337-1319, alt. 740m の大岩の多い Aa 型急流に 2 個セット；(26) 恵那市飯沼川支流小野川、MC5337-1317, alt. 480m の Aa 型川 (周辺ヒノキ、竹) に 10 個セット；(27) 同上小野川、(26) の下流、MC5337-1317, alt. 440m の Bb 型川 (片側スギ林、河床に少しヨシあり) にワナ 7 個セット。恵那市東野保古の湖、東那山荘泊。
- 4 月 18 日：(25)、(26)、(27) カワネズミ 0；(28) 長野・開田村西又川、MC5337-7454, alt. 1,220m の広葉樹林内、小岩の多い Bb 型平瀬でワナポイント少ないところに 8 個セット (餌アジ)；(29) 同西又川源流、MC5337-7464, alt. 1,280m の幅 3-5m の Aa 型川に 16 個セット；(30) 岐阜・高根村幕岩川、MC5337-7452, alt. 1,330m の広葉樹に覆われた大岩の多い Aa 型川に 20 個 (餌アジ) セット；(31) 同、高根村日和田川の支流、MC5337-7492, alt. 1,150m の広葉樹に覆われた Aa 型川に 10 個セット；(32) 高根村水屋ヶ谷、MC5437-0411, alt. 1,100m の広葉樹に覆われた岩の多い Aa 型川に 17 個セット。高根村七峰館泊。
- 4 月 19 日：(28) ヒメネズミ 1⁽⁴⁷⁾；(29) カワネズミ 0；(30) カワネズミ 1⁽⁴⁸⁾、ヒミズ 1 (食われ)、アカネズミ 2 (捨て)、スミスネズミ 1 (捨て)；(31) カワネズミ 1⁽⁴⁹⁾、アカネズミ 2；(32) カワネズミ 1⁽⁵⁰⁾、アカネズミ 6 (捨て)；(33) 岐阜・朝日村黒見谷、LC5437-0219 のヒノキ・広葉樹林内、大岩の多い Aa 型急流に 20 個セット。朝日村鈴蘭高原ペンション YESNO 泊。
- 4 月 20 日：(33) カワネズミ 1⁽⁵¹⁾。同所のヒノキ・カラマツ林にてリス 1 頭目撃；(34) 長野・木祖村小木曾笹川支流、MC5337-7579, alt. 1,100m の広葉樹に覆われた岩の多い Aa 型川に 10 個セット (餌アジ)；(35) 同、笹川支流、MC5337-7599, alt. 1,140m の Aa 型川に 12 個；(36) 同、(35) の上流、MC5337-7598, alt. 1,200m の Aa 型急流に 9 個；(37) 木祖村奥峰沢上流、MC5337-7558, alt. 1,250m の同様の Aa 型川に 15 個；(38) 長野・樽川村橋戸沢、MC5437-0606 の広葉樹に覆われるが岩の少ない Bb 型川に 15 個；(39) 同上、橋戸沢小支流、MC5337-7695 の Aa 型川に 10 個セット。樽川村ならい荘泊。
- 4 月 21 日：(34) にてカワネズミ 1⁽⁵²⁾、アカネズミ 1⁽⁵³⁾；(37) カワネズミ 1⁽⁵⁴⁾、アカネズミ 1、ハタネズミ 1；(35)、(36)、(38)、(39) ではカワネズミ 0。天竜川上流、横川川水系小横川水系は支流を含めて平瀬のみで、カワネズミのハビタット全くなき、ワナかけ出来ず。長野・箕輪町波ノ湯ながた荘泊。
- 4 月 22 日：(40) 長野・佐久町坂井川上流、乙女の滝下 MC5438-1439, alt. 1,050m の大岩の多い Aa 型急流に 9 個 (餌アジ)；(41) 同、乙女の滝上、左岸小沢、MC5438-1530, alt. 1,140m の Aa 型急流に 10 個；(42) 同、(41) のすぐ上、第三郎沢の右岸、MC5438-1530, alt. 1,180m の Aa 型川に 7 個；(43) 群馬・上野村神流川支流、MC5438-0596, alt. 640m の広葉樹に覆われた Aa 型川に 10 個；(44) 同上野村塩ノ沢支流、大栃沢、MC5438-1538, alt. 780m の大岩多く、カバーの良い Aa 型川に 15 個セット (上下に高さ 4-5m の砂防ダム)。上野村やまびこ荘泊。
- 4 月 23 日：(40) 乙女の滝下にかけたワナ紛失。カワネズミしか利用しないと思われる岩の下であったので、かかった後イタチか何かに持ち去られたか；(41) 0；(42) ここでも良好な場所の岩の下のワナ紛失。これもかかった後持ち去られたか？⁽⁵⁵⁾；(44) 0。この川は良いが、上下にダムがあるためカワネズミはいないらしい；(45) 新潟・湯之谷村佐梨川支流、芋川上流、MC5539-6032, alt. 280m の Aa 型川に 25 個セット；(46) 湯之谷村大湯下、佐梨川小支流、MC5539-6036, alt. 250m に 3 個セット。カタクリの花でギフチョウ 2 頭目撃。湯之谷村大湯保栄館泊。

(46) 【57678】。

(47) HUNHM 所蔵標本に当該日採集のヒメネズミ、ヒミズ、アカネズミ、スミスネズミなし。

(48) 【57681】。

(49) 【57680】。

(50) 【57679】。

(51) 【57682】。

(52) 【57684】。

(53) HUNHM 所蔵標本に当該日採集のアカネズミ、ハタネズミなし。

(54) 【57683】。

(55) 手帳には調査地 (43) の記載がないが、カワネズミ 【57685】が採集されている。

4月24日:(45) カワネズミ 1⁽⁵⁶⁾、ヒミズ 3⁽⁵⁷⁾、アカネズミ 1⁽⁵⁸⁾、ヒメネズミ 1⁽⁵⁹⁾ 採集;(46) カワネズミ 0 (ハビタット短かすぎる)。小出町西福寺開山堂に立ち寄り、新潟港 23:50 フェリーにて苫小牧へ。

4月25日:19時帰宅。全行程 3,203km。

6. 本州中部・西部・九州、2002年5月15-31日

5月15日:小樽 10:30 発、新潟行きフェリー

5月16日:新潟港 5:30 着。直ちに関越道にて下仁田經由群馬・上野村へ。

群馬・上野村利根川上流 (1) 日向沢、MC5438-0573, alt. 900m、広葉樹天然林に覆われた、大岩の多い Aa 型川 (幅 3-5m) に 20 個のワナ (餌チカ) セット;(2) 同上の上流、MC5438-0573, alt. 1,050m の同様の環境に 9 個セット;(3) 長野・北相木村、信濃川水系、相木川最上流、MC5438-0550, alt. 1,320m にある、(1) と同様の川 (幅 5-6m) に 17 個セット;(4) 同村木次原の無名小支流 (幅 1-2m)、MC5438-0580, alt. 1,220m の Aa 型川に 12 個セット;(5) 同村白岩、横屋沢川 (幅 1-3m)、MC5438-0484, alt. 1,130m の広葉樹に覆われた Aa 型川に 9 個セット。上野村民宿、鱒池泊。

5月17日:(1) にてカワネズミ 5⁽⁶⁰⁾ 採集 (1 family?); (2)、(3)、(4) カワネズミとれず;(5) 横屋沢川上流にてカワネズミ 1⁽⁶¹⁾ 採集。この沢の下流には人家があり、トラップラインの下流側の川はかなり改変されている。トラップライン中には一部岩が少なく河畔林がない部分が 50m ほどあり、そこにかけた 7 個のワナ位置からはなれた、天然広葉樹に覆われ、ほとんど人工の加わっていない最上流の 2 個のワナ部分でカワネズミがとれた。このことは、河畔林の改変の影響が大きいことを示す。(3) のハビタットは岩も多く安定しており、カワネズミがおれば必ずとれるはずの大きな岩の下有空隙にかけたワナでもとれなかった。このトラップラインの 100m 上流には川を完全に仕切ってしまった高さ 10m ほどの新しいダムがあり、また、下流 1km ほどのところにはキャンプ場など、大きなレクリエーション施設が作られている。(3) の環境が大変良いにもかかわらず、とれなかったことは、このような、川と周辺環境の改変によって、カワネズミが大きな影響を受けたことを示すものと思われる。(4) も家の横の小沢で、河畔林に人手が加わっていることでなくなった可能性が高い。(1) では 16 日の夕方 17 時すぎの見回りで 1 young がとれ、17 日に同じワナで♀ adult がとれ、更にこれに近い周辺のワナで young 3 頭がとれた。そのため、これらは早春に生まれた family か? 但し、♀ adult は妊娠中であつたことから、これは 2 回目妊娠か? (6) 長野・下諏訪町砥川上流の小支流、MC5438-1059, alt. 1,200m の広葉樹に覆われた Aa 型川 (小雨でも濁流が流れ、川底には泥が堆積し、水生昆虫少なし) に 12 個セット。(7) 下諏訪町樋橋、砥沢下流 (幅 4-5m)、MC5438-1048, alt. 980m の岩の少ない Bb 型川 (広葉樹カバー) に 6 個セット。下諏訪、ホテル山王閣 (国民宿舎) 泊。

5月18日:(6) (7) では 0。(8) 長野・伊那市西箕輪小沢川支流 (幅 2m)、MC5337-6751, alt. 1,200m の広葉樹カバー良好で、岩の多い Aa 型急流に 9 個 (餌チカ) セット。16 時頃カワネズミ 2⁽⁶²⁾ 採集、ワナ回収。(9) 同、南箕輪村飛地、北沢の支流 (幅 1-1.5m)、MC5337-6760, alt. 1,320m の (8) 同様の川に 12 個セット;(10) 同上、北沢の最上流 (幅 3-5m)、MC5337-6679, alt. 1,400m にある広葉樹に覆われ、岩の多い Aa 型川 (高さ 10m のダム上流側) に 11 個セット。15 時半、小支流にてカワネズミ 1⁽⁶³⁾ 採集。(11) 同、楢川村栃洞沢 (川幅 3-5m)、MC5337-6647, alt. 1,250m の広葉樹カバーはよいが平瀬の多い Aa+Bb 型川に 19 個セット (上に 15m の古いダム)。南箕輪大芝荘泊 (町営)。

5月19日:(9) カワネズミ 0;(10) 昨日カワネズミがとれた小支流のワナの隣のワナにてカワネズミ (young) 1⁽⁶⁴⁾ 採集 (川の写真); (11) カワネズミ 4⁽⁶⁵⁾ 採集;(12) 松本市薄川支流右岸、コナコ沢下流 (扇温泉下) (川幅

(56) 【57686】。

(57) 【57688】、【57689】、【57690】。

(58) 【57692】。

(59) 【57693】。

(60) 【57694】、【57695】、【57696】、【57697】、【57698】。

(61) 【57699】。なお、標本の MC 記載は「5438-0487」であり合致しない。

(62) 【57700】、【57701】。

(63) 【57702】。

(64) 【57703】。

(65) 【57704】、【57705】、【57706】、【57707】。

- 4-5m)、MC5438-2026, alt. 1,060m の広葉樹カバーの良い Aa 型川で、16 時ころカワネズミ (大型) 目撃。この付近にワナ 20 個 (餌アジ) セット。松本市ウエルサンピア松本 (厚生年金会館) 泊。
- 5 月 20 日：(12) カワネズミ 2⁽⁶⁶⁾ 採集 (川の写真 5 枚)。10:40 下山。松本ー (高速) ー 兵庫・山崎町へ。山崎町伊沢の里泊。
- 5 月 21 日：(13) 兵庫・波賀町引原川上流、MC5234-7461, alt. 810m、広葉樹カバーよく、幅 5-6m、大岩の多い Aa 型川に 14 個 (餌キビナゴ) セット。(14) 同上の 1km 下流、MC5234-7462, alt. 680m で環境は似るがやや平瀬の多い所に 18 個セット。11 時 10 分、川岸にてキテン目撃。17 時 30 分頃再びキテン (別個体) 目撃。(15) 鳥取・若桜町八東川源流、MC5234-7450, alt. 720m の広葉樹・ササによるカバーのよい Aa 型川 (幅 4-5m) に 11 個 (餌キビナゴ) セット。12 時、快晴の下で活動中のカワネズミ 1 頭を目撃 (樹木カバーのため直射日光は当たらず)。(16)、(15) の 100m 下から分岐、北上する支流 (MC、alt. 環境は同じ) に 18 個セット。ここでは夕方にカワネズミ 1⁽⁶⁷⁾ 採集。(17) 若桜町落折川左岸支流 (幅 5-6m)、MC5234-7348, alt. 500m の広葉樹カバー、大岩の多い Aa 型川に 12 個セット (すぐ上に 10m 程のダムあり)。ダム下にて 14 時 30 分カワネズミ (小型) を 1 頭目撃し、16 時 30 分、見回り時に再び目撃。(18) 兵庫・大屋町スキー場横、大屋川上流、MC5234-7437, alt. 680m の広葉樹カバーよく、岩の多い Aa 型細流 (幅 1m) に 5 個セット。大野町若杉スキー場ロッジ、フジナシ泊。
- 5 月 22 日：(13) カワネズミ 2⁽⁶⁸⁾；(14) カワネズミ 1⁽⁶⁹⁾；(15) 0；(16) カワネズミ 2⁽⁷⁰⁾；(17) カワネズミ 3⁽⁷¹⁾、ヒミズ 1⁽⁷²⁾；(18) カワネズミ 1⁽⁷³⁾ 採集。(19) 大屋町若杉 (ワカス) 若杉川支流、MC5234-7447, alt. 520m の広葉樹カバー、岩多い Aa 型川 (幅 1-3m) に 20 個 (餌アジ) セット；(20) 同上、若杉川、MC5234-7448, alt. 380m の同様の川 (幅 1.5-6m) に 14 個セット。
- 5 月 23 日：(19) カワネズミ 1⁽⁷⁴⁾；(20) カワネズミ 2⁽⁷⁵⁾ 採集。(21) 広島・比和町上八川、久泉原川、MC5233-4060 のスギ林内、カバーの良い Aa 型川 (幅 2-4m) に 16 個 (餌キビナゴ) セット (24 日、東京出張のため、これは夕方回収)。(22) 広島・高野町俵原川上流の支流 (幅 4-5m)、MC5232-4788 の広葉樹カバーのよい Aa 型川に 15 個セット (夕方回収)。(23) 鳥取・仁多町阿井川源流、MC5232-5702 の広葉樹カバーよく、岩の多い Aa 型川 (幅 2-3m) に 7 個 (餌キビナゴ) セット。
- 5 月 24 日：文化財保護委員会出席のため米子空港から東京へ、日帰り出張。(23) にてカワネズミ 1⁽⁷⁶⁾ 採集。
- 5 月 25 日：玲子、広島市でのクラス会出席のため三次にて下ろし、山口・鹿野町へ。(24) 山口・鹿野町米山、渋川上流の支流 (幅 1-15m)、MC5131-3639, alt. 540m の広葉樹・スギ林カバーよく、岩の多い Aa 型川に 12 個 (餌イワシ) セット。(25)、(24) の 300m 上流、米山左岸支流、MC5131-3639, alt. 550m のスギ・広葉樹カバーのよい Aa 型川に 8 個セット。(26) 同上、米山左岸支流 (幅 3-4m)、MC5131-3649, alt. 600m の同様な川に 14 個セット。(27) 島根・六日市町捨河内、蓼野川上流、MC5131-3679, alt. 600m のスギ・広葉樹カバーよく、岩の多い Aa 型川に 15 個セット。車中泊。
- 5 月 26 日：(24) カワネズミ 1⁽⁷⁷⁾、(25) 0、(26) カワネズミ 2⁽⁷⁸⁾、(27) カワネズミ 1⁽⁷⁹⁾ 採集 (写真 3 枚)。佐賀へ。(28) 佐賀・背振村城原川支流 (幅 3-6m)、MC5030-1209, alt. 690m の広葉樹に覆われた岩の多い Aa 型急流 (砂防ダム下) に 14 個 (餌アジ) セット。夕方、カワネズミ 1⁽⁸⁰⁾ 採集。(29) 同、背振村嘉瀬川上流、MC5030-1217, alt. 650m のスギ林内、広葉樹畔林カバーよく、岩多い Aa 型急流 (幅 2-4m) に 15 個。(30)、(29) と同じ川の支流 (Aa 型、幅 1-2m) に 8 個。(31) 同、三瀬村高山、嘉瀬川上流、MC5030-1226, alt. 650m のヒノキ林内広葉樹カバーよく、大岩の多い Aa 型川 (幅 5-8m) に 18 個セット。

(66) 【57708】、【57709】。

(67) 【57710】。

(68) 【57711】、【57712】。

(69) 【57713】。

(70) 【57714】、【57715】。

(71) 【57716】、【57717】、【57718】。

(72) 【57738】。

(73) 【57719】。

(74) 【57722】。

(75) 【57720】、【57721】。

(76) 【57723】。標本の採集地は「島根」になっている。仁多町は島根県であり手帳記入時の誤記であると考えられる。

(77) 【57724】。

(78) 【57725】、【57726】。

(79) 【57727】。

(80) 【57728】。

- 5月27日：(69才誕生日)。(28) 0 (前日夕方にカワネズミ 1)、(29) カワネズミ 1⁽⁸¹⁾、(30) 0、(31) カワネズミ 1⁽⁸²⁾。長崎・諫早へ。(32) 諫早市長田川源流、MC4930-3035, alt. 620m のスギ林内河畔広葉樹に覆われた、大岩の多い Aa 型川 (幅 2-4m) に 19 個 (餌アジ) セット (すぐ上に新しい 10m ほどの砂防ダム)。(33)、(32) の横 100m にあり、同じ環境を持つ支流に 19 個。(34) 長崎・高来町境川上流、轟滝上側の支流 (幅 3-4m)、MC4630-3038, alt. 340m の広葉樹に覆われた Aa 型川に 13 個セット。
- 5月28日：(32) 0。環境は非常に良いのに、すぐ上の砂防ダムのせい。(33) カワネズミ 2⁽⁸³⁾、アカネズミ 1⁽⁸⁴⁾、ヒメネズミ 1。(34) 0。(33) は (32) と同じ支流であるのに 2 頭とれたのはダムがないせい。
- 5月29日：(35) 滋賀・木之本町杉野川源流、登谷、MC5336-3204, alt. 350m の一部伐採され、明るいスギ林内の Aa 型川 (幅 1-3m) に 29 個 (餌キビナゴ)；(36) 岐阜・坂内村八草川支流、MC5336-3227, alt. 450m のコンクリート岸をもち、灌木のカバー少ない Aa 型川 (幅 1-3m) に 5 個セット。(37) 同、(36) より 700m 上流、八草川上流左岸小支流、MC5336-3217, alt. 470m の灌木カバーの良い Aa 型川 (幅 1m) に 14 個セット (夕方カワネズミ 1⁽⁸⁵⁾ 採集)；(38) 同、(37) より 300m 上流 (MC、alt. 同じ) の同環境支流 (幅 0.5-3m) に 20 個セット。
- 5月30日：(35) カワネズミ 2⁽⁸⁶⁾、(37) カワネズミ 2⁽⁸⁷⁾、(36) と (38) は 0。草津市琵琶湖博物館見学後、23：30 敦賀発、新日本海フェリーにて小樽へ。
- 5月31日：20：30 小樽着。走行距離 3,629km。

7. 群馬・福島・岩手・秋田・青森、2002年6月20日-7月1日

- 6月20日：小樽 10：30 発、新潟行 新日本海フェリー
- 6月21日：新潟 5：30 着、高速道一群馬・水上へ。8 時着。(1) 群馬・水上町栗沢北方、利根川支流、MC5539-1071, alt. 600m の広葉樹天然林カバーの良い Aa 型川 (幅 1-1.5m) に 14 個 (餌チカ) セット。養魚池付近にモリアオガエル卵 (写真)。夕方カワネズミ 1⁽⁸⁸⁾ 採集。(2) 同、栗沢北方、利根川小支流、MC5539-1082, alt. 690m のスギ・広葉樹カバーの良い Aa 型川 (幅 1.5-3m) に 17 個セット。夕方 4 時カワネズミ 1⁽⁸⁹⁾ 採集。(3) 水上町谷川、保登野沢下流、MC5538-1746, alt. 620m、広葉樹あるも河畔になく明るい、岩の非常に多い川 (幅 3-5m) に 20 個セット。水上町富士、浅間神社の壁にムササビの穴あり、隣のスギ (径 50cm) の木の、毎日飛び移る側に明瞭な活動痕跡あり (写真)。水上町大穴、KKR 水明荘泊。
- 6月22日：(1) と (3) 0、(2) カワネズミ 1⁽⁹⁰⁾。(3) のハビタットは大岩多く、急流で非常に良いが、河畔の樹林カバーなく、すぐ横にスキー場があるためかカワネズミはとれなかった。(4) 福島・館岩村、阿賀川水系館岩川上流の支流、MC5539-4591, alt. 930m の広葉樹カバーは良いが岩の少ない Bb 型川 (幅 0.5-1m) に 7 個 (餌アジ) セット。(5) 同、田島町滝原、阿賀川上流鎌越沢、MC5539-5505, alt. 780m の広葉樹カバーよく岩の多い Aa 型川 (幅 3-5m) に 18 個 (餌アジ) セット。田島町滝の原三滝温泉泊。
- 6月23日：(4) カワネズミ 1⁽⁹¹⁾、(5) カワネズミ 2⁽⁹²⁾、(6) 福島・天栄村阿賀川水系、黒沢下流、MC5540-7045, alt. 650m、広葉樹カバー良いが岩の少ない Bb 型川 (幅 4-6m) に 8 個セット。(7) 同、黒沢上流、MC5540-7082, alt. 800m の同様の川 (幅 3-5m) に 15 個セット。(8) 同、天栄村羽鳥湖支流の源流、MC5540-7008, alt. 710m の同様の川 (幅 1-3m) に 8 個セット、(9) 同、大信村阿武隈川水系隈戸川源流、MC5540-6099, alt. 580m の広葉樹カバーよい Bb 型本流 (幅 4-5m、川底岩盤) に 8 個、Aa 型支流に 10 個セット。下郷町湯野上温泉、会津野泊。

(81) 【57729】。

(82) 【57730】。

(83) 【57731】、【57732】。

(84) HUNHM 所蔵標本に当該日採集のアカネズミ、ヒメネズミなし。

(85) 【57733】。

(86) 【57736】、【57737】。

(87) 【57734】、【57735】。

(88) 【57739】。

(89) 【57740】。

(90) 【57741】。なお、目録では当該標本の採集日が「6月21日」となっているが「6月22日」の誤りである。

(91) 【57742】。

(92) 【57743】、【57744】。

- 6 月 24 日：(6) 0、(7) カワネズミ 2⁽⁹³⁾、(8) カワネズミ 1⁽⁹⁴⁾、(9) カワネズミ 1⁽⁹⁵⁾ (支流部)。(10) 天栄村細野川上流、MC5540-7110, alt. 620m の広葉樹カバーの良い Aa 型川 (幅 3-4m) に 30 個セット。天栄湯泊。
- 6 月 25 日：(10) カワネズミ 2⁽⁹⁶⁾ (下流と上流で各 1)。高速道にて一関市へ。(11) 岩手・一関市真湯温泉南、磐井川上流、西桂沢と東桂沢の分岐点、MC5840-3698, alt. 400m の広葉樹カバーの良い Aa 型川 (幅 1.5-6m) に 10 個 (餌チカ) セット (西沢・すぐ上に 5m の砂防ダムあり)。(12)、(11) の上流 100m、西桂沢の砂防ダム上流側のカバー少ない Aa 型川 (幅 1.5-5m) に 15 個 (トラップラインの上側にも 5m のダムあり)。(13) 一関市磐井川上流、西桂沢、MC5840-3688, alt. 420m の同様の Aa 型小支流 (幅 0.5-1m) に 12 個セット。真湯温泉泊。
- 6 月 26 日：(11) の西桂沢側でカワネズミ 1⁽⁹⁷⁾、東桂沢側でカワネズミ 1⁽⁹⁸⁾ 採集。(12) 0、(13) カワネズミ 1⁽⁹⁹⁾、(14) 岩手・西根町染田川水汲沢合流から上方、MC6041-0059, alt. 440m の広葉樹カバー良い Bb 型川 (幅 5-6m) に 11 個 (餌チカ)、(15) 同、染田川支流ブナ沢、MC6041-0182, alt. 670m の広葉樹カバーの良い Aa+Bb 型川 (幅 0.5-1m) に 13 個セット。西根町、町営大牧野上流側にクマの糞あり。(16) 同、岩手町太田川上流、MC6041-0163, alt. 570m の広葉樹カバーの良い、Bb 型であるが洗掘洞のある川 (幅 2-3m) に 10 個、(17) 同、西根町染田川支流、ドロノキ沢の広葉樹カバー良く、洗掘洞のある Aa 型川 (幅 1-1.5m) に 15 個セット。西根町いこいの村泊。
- 6 月 27 日：(14) カワネズミ 1⁽¹⁰⁰⁾；(15) と (16) カワネズミ 各 2⁽¹⁰¹⁾ 計 4；(17) 0；(18) 岩手・安代町安比川支流、滝又沢、5m の砂防ダム下、MC6041-1062, alt. 400m のスギ林内カバーよい Bb 型川 (幅 4-6m) に 12 個 (餌チカ)。13 時過ぎワナセット、17 時カワネズミ 3⁽¹⁰²⁾ 採集 (ad ♀ と 2 young で、まだ親のレンジ内にいたものとおもわれる)。(19)、(18) のすぐ上流、MC6041-1072, alt. 420m の広葉樹カバーの良い岩盤底の Bb 型川 (幅 2-4m) に 5 個セット。(20) 同、安代町田沢、杉沢、MC6040-1739, alt. 400m の広葉樹カバーの良い Bb 型川 (幅 3-4m、洗掘洞なし) に 10 個；(21) 同、田沢源流、MC6040-1709, alt. 480m の広葉樹カバー良く、洗掘洞のある Bb 型川 (幅 2-4m) に 14 個セット。安代町村上旅館泊。
- 6 月 28 日：(18) カワネズミ 4⁽¹⁰³⁾ (3 young と 1 juvenile で、昨日採集分と共に ♀ ad のレンジ内にいたものと思われる)。(19) カワネズミ 1⁽¹⁰⁴⁾；(20) カワネズミ 2⁽¹⁰⁵⁾；(21) カワネズミ 2⁽¹⁰⁶⁾。(22) 青森・蟹田町六郎沢、MC6140-4460, alt. 80m のスギ・広葉樹カバーはよいが岩が全くなく、洗掘洞のある Bb 型川 (幅 1.5-4m) に 20 個 (餌サンマ、チカ)。(23) 青森・中里町鍋越沢源流、MC6140-4369, alt. 50m にあり、(22) 同様の川 (幅 1-3m) に 10 個 (餌サンマ) セット。蟹田町中村旅館泊。
- 6 月 29 日：(22)、(23) カワネズミ 各 1⁽¹⁰⁷⁾。蟹田 13：50 発、フェリーにて脇野沢 14：50 着。(24) 青森・脇野沢村下滝山沢、MC6140-6615, alt. 80m の広葉樹カバーは良いが岩のない Aa 型川 (幅 0.5-1m) に 12 個 (餌サンマ)。(25) 同、脇野沢川、MC6140-6623, alt. 50m のスギ・広葉樹カバーは良いが岩なく、洗掘洞のある川 (幅 5-6m) に 18 個 (サンマ) セット。民宿シバタ泊。
- 6 月 30 日：(24) 0。道路工事による土砂流入の影響か；(25) 0。ワナポイント少なく、20-30m 間隔のためか。(26) 青森・大間町奥戸、奥戸川上流、MC6240-1745, alt. 90m の広葉樹カバー良く大岩の多い Bb 型川 (幅 3-6m) に 17 個 (餌ヤマメ) セット。夕方カワネズミ 2⁽¹⁰⁸⁾ 採集、ワナ回収。(27) 同所上、二股沢、MC6240-1745, alt. 90m の同様の川 (幅 2-3m) に 5 個セット (ヤマメ)。カワネズミ 0、ワナ回収。(28) 同、大間町小奥戸川上流、MC6240-1795, alt. 50m の広葉樹カバー良く、洗掘洞のある Bb 型川に 16 個 (ヤマメ) セット (上流側に道路工事あり、土砂流入のため川床に土がたまり、カワネズミいないか)。

(93) 【57745】、【57746】。

(94) 【57747】。

(95) 【57748】。

(96) 【57749】、【57750】。ただし、2 個体とも標本記載の採集地は「上流」である。

(97) 【57751】。

(98) 【57752】。

(99) 【57753】。

(100) 【57754】。

(101) 調査地 (15)：【57755】、【57756】。調査地 (16)：【57757】、【57758】。

(102) 【57759】、【57760】、【57761】 (ad ♀)。

(103) 【57762】、【57763】、【57764】、【57765】。

(104) 【57766】。

(105) 【57767】、【57768】。

(106) 【57769】、【57770】。

(107) 調査地 (22)：【57771】、調査地 (23)：【57772】。

(108) 【57773】、【57774】。

7月1日：(28) モクズガニ非常に多く、ワナ空落ち多く、カワネズミ0。大間11:30 発フェリーにて函館へ。18時過ぎ帰宅。走行距離 2,052km。

8. 粟島・富山・福井・京都・滋賀、2002年10月1日-15日

10月1日：小樽10:30 発、新潟行きフェリー

10月2日：台風のため岩船-粟島フェリー運行停止。粟島に行けないためやむを得ず新潟観光。和島村、良寛の里美術館見学。良寛の里周辺の水田を調べたがすべて土地改良水田で、モグラ全く見られず。良寛の里がある丘周辺の畑はトンネル横径40-45mmで、アズマモグラかどうか不明。エチゴモグラはいない(MC5638-2691)。黒川村胎内高原パークホテル泊。昆虫の家はなかなかのコレクションで面白い。横の川(胎内川の支流)はV字型の川で樹林のカバーは大変良く、暗い状態。カワネズミのハビタットとして良好であるが、上流側にゴルフ場があるため、水は濁り、棲息可能性少ない。本流も濁っている。胎内平の林内に新しいトンネルあり、径35mmでアズマモグラか。

10月3日：富山市駅前、富山ビジネスホテル泊。

10月4-6日：日本哺乳類学会大会出席。自由集会、カワネズミの棲息環境発表。

10月7日：富山-高速道-福井・美浜町。(1) 美浜町、耳川上流、松屋上の小支流、MC5335-2728, alt. 180mの広葉樹カバーの良いAa型川(幅3-3.5m)に12個(餌アジ)セット。(2)、(1)の上流、能登又谷と支流、MC5335-2727, alt. 250mのスギ・河畔広葉樹カバーの良いAa型川(幅1-5m)に6個セット。松屋の路上に5頭のニホンザル。(3)、(2)とは別の北方の沢、MC5335-2737, alt. 280mの広葉樹カバーの良いAa型川(幅1-2m)に7個セット。松屋東、林道上にて野犬2頭が♀ジカ捕食中を目撃。

10月8日：(1) カワネズミ 1⁽¹⁰⁹⁾、(2) カワネズミ 1⁽¹¹⁰⁾、(3) カワネズミ 1⁽¹¹¹⁾。(1) 付近にてニホンザル1頭目撃。また浅ヶ瀬集落付近にて柿を盗み、抱えて逃げるサル1頭目撃。(4) 京都・美山町由良川水系、棚野川源流、MC5335-0428, alt. 320mのスギ高木林内、河畔明るいBb型川(幅1.5-4m、洗掘洞は20-40m間隔)に7個(餌アジ)、(5) 同、由良川水系西川源流、MC5335-0421, alt. 440mの広葉樹カバー良く、岩の多いAa型川(幅1-3m)に14個、(6) 同、知見八原知見谷川上流、MC5335-0512, alt. 350mの樹林カバー少ないが岩多いAa+Bb型川(幅2-4m)に10個セット。

10月9日：(4) はBb型川で、カワネズミのかくれ場拠点間の距離が20-40mもあるため、やはりとれなかった。(5) はカワネズミにとって最良のハビタットであったが、トラップミス(餌とられ)のためとれなかった。14個のワナ列の上部と下部で2個のミスがあったことから、2頭はいた可能性がきわめて大。ワナそのまま置く。(6) カワネズミ 1⁽¹¹²⁾。(7) 福井・名田庄村榎谷、南川水系榎谷川、MC5335-0552, alt. 150mのスギ高木林内カバーの良い川(幅2-5m)に9個、幅0.5mの支流に2個セット(上流に200m間隔で3個のダムが連続、上流の土木工事のため川底は泥がかぶっている。下流集落域は両岸コンクリート)。シカの鳴き声を聞く。(8) 名田庄村木谷、南川水系、久田川・白倉谷合流部にある久田川の支流、MC5335-0578, alt. 110mの広葉樹カバー良く、岩の多いAa型川(幅1-2m)に12個セット(白倉谷にて土木工事のため土砂流入あり、底石は泥で覆われるが、小支流は清流)。

10月10日：(5) カワネズミ0。ここは源流部の200-300mで、ワナ設置部分のハビタットは非常に良いが下流は全面改良されているため絶滅していると思われる。(7) カワネズミ 1⁽¹¹³⁾。本流部は上流で土木工事のため土砂流入があり、川底石の表面は泥で覆われており、水生昆虫見られず。下流は全面改修。横にある川幅50cmの支流の清流部にかけた2個のワナで1頭捕獲できたもの。この川はカワネズミ絶滅寸前であろう。(8) カワネズミ0、トラップミス2。(9) 小浜市池河内上流、北川水系松永川上流、MC5335-1626, alt. 100m、スギ高木林内河畔広葉樹カバーの良いAa型川(幅4-5m)に15個(餌オイカワ、アジ)。2本沢の左沢には50m上にダムあり。(10) 滋賀・今津町石田川上流の支流、MC5335-1746, alt. 350mの広葉樹カバー良く、岩の多いAa型川に6個(餌オイカワ)。上流側に7-8mの鉄枠の砂防ダム、下側にも5mのコンクリート段差あり、上下ダム間隔は100m。(11) 今津町石田川上流の支流、MC5335-1747, alt. 350mの広葉樹カバー良く、岩の多いAa型川(幅2-4m、急流)に11個(餌オイカワ)。ここはきわめて良いハビタット。

(109) 【57783】。

(110) 【57784】。

(111) 【57785】。

(112) 【57786】。

(113) 【57787】。

10 月 11 日：(9) カワネズミ 1⁽¹¹⁴⁾ (左沢、ダム下にて)、アカネズミ 1⁽¹¹⁵⁾、(10) カワネズミ ♂ 1⁽¹¹⁶⁾、♀ 1⁽¹¹⁷⁾。古い鉄製砂防ダム (7-8m、全面から水が滝のように落ちる) とコンクリート段差 (5m ほど) の間、100m ほどの間で ♀ がとれたことから、この間にペアがいたことになる。岩の多いよいハビタットだが、わずか 100m 区間でも 2 頭の棲息が可能か？ (11) カワネズミ 2⁽¹¹⁸⁾。今津町 12：30 発—木之元—高速道 (300km 余)—山梨・勝沼町ブドウの丘センター泊 (19 時着)。

10 月 12 日：阿部眞也君 (永の弟、裕次男) 結婚式出席、山梨市富士見パークホテル。

10 月 13 日：山梨市—河口湖—群馬—新潟市、厚生年金会館、ウエルシテイ泊。

10 月 14 日：新潟・横越町横越水田 (改良水田) のモグラトンネル調査。MC5639-6121、-6122、-6131 の畔では、-6131 の中の道路沿いのみにエチゴモグラ棲息 (ワナ 3 個セット)、他の農道には全く棲息痕なく、ハタネズミのみ (写真)。夕方 (4：50) モグラとれずワナ引き上げ。

10 月 15 日：17：20、苫小牧東港着、18：30 帰宅。走行距離 2,673km。

9. 四国・見島・隠岐島、2002 年 10 月 26 日 -11 月 15 日 カワネズミ・ヒミズ調査

10 月 26 日：小樽—苫小牧東港、新日本海フェリーにて敦賀へ。

10 月 27 日：強風、高波のため 16：30 新潟で降ろされた。そのため新潟から富山市まで行き、駅前、富山ビジネスホテル泊。

10 月 28 日：富山市 8 時出発、14：30 徳島着 (515km)、統治君 (玲子弟) 病気見舞いの後、川島へ (泊)。

10 月 29 日：川島に 1 日滞在、麻名用水にてワナ餌用小魚採集。

10 月 30 日：川島—徳島県南部木沢村へ。(1) 木沢村那賀川水系釜ヶ谷川支流、MC5034-6272, alt. 750m の河畔広葉樹カバー良く、大岩の多い Aa 型川 (幅 1.5-5m、きわめて良いハビタット) に 7 個 (餌アジ) (写真)。(2)、(1) の下流の支流、おおつく谷、MC5034-6261, alt. 750m の広葉樹カバーよく、大岩の多い Aa 型川 (幅 2-6m) に 7 個 (餌アジ)。(3) 木沢村岩倉下、坂州木頭川支流、きわん谷、MC5034-6114, alt. 650m の広葉樹カバー良く、岩の多い Aa 型川 (幅 1-4m) に 9 個。(4) 木沢村坂州木頭川支流ビリ谷、MC5034-6117, alt. 500m の広葉樹カバー良く岩の多い Aa 型川 (良好なハビタット) に 8 個セット (写真)。木沢村坂州木頭川添いの川成集落に住む人にカワネズミ情報について聞いてみたが、昔から情報はないという。イタチはいるという。坂州木頭川は大岩 (3-6m) が多く Aa 型で、カワネズミのハビタットとしては大変よい川であり、多くの支流には特に良好なものがある。本流も人為的改変は少ないが、特に支流は改変がないか、少ないものも多く、本州の川であれば必ず棲息している川である (写真：木頭川本流)。

10 月 31 日：(1)~(4) カワネズミ 0。川成集落の上流にあるアメゴ養殖場の人によるとカワネズミは見たことがなく、養魚場に出現したことはないという (これもカワネズミ非棲息の有力な証拠)。(5) 木頭村那賀川支流大谷川支流、MC5034-4173 の広葉樹カバー良く、岩 (1-3m) の多い Aa 型川 (幅 3-6m) に 9 個 (餌ウグイ、フナ) セット。(6) 同、那賀川支流、南川支流、柄谷 (カラタニ)、MC5034-4170, alt. 500m のスギ林内、河畔広葉樹カバー良く、岩多いが Bb 型に近い Aa 型川 (幅 3-6m) に 6 個、同川の完全な Aa 型小支流 (幅 1m) に 5 個。(7) 木頭村美那川キャンプ場スギ林、MC5034-4182, alt. 460m にヒミズ用パンチュウ 10 個 (餌、干しチカとピーナツバター)。(8) 木頭村出原、スギ林、MC5034-5126, alt. 360m にヒミズ用パンチュウ 4 個セット。那賀川支流、南川は平瀬が多い川であるが、支流は Aa 型が多く、カワネズミの良いハビタットである。川周辺の改変は少なく、特に支流域では良いハビタットが保存されているので、本州であればカワネズミが必ず棲息しているような環境である。

11 月 1 日：(5)、(6) カワネズミ 0。(7) アカネズミ 1⁽¹¹⁹⁾、(8) ヒミズ 1⁽¹²⁰⁾。木頭—195 号道—高知・南国道—伊野—194 号道—高知・本川。美那川キャンプ場上にてニホンザル 2 頭目撃。(9) 高知・本川 (ホンカワ) 村、吉野川最上流、MC5033-4194, alt. 1,070m の広葉樹カバー良い Aa 型川 (幅 2-4m で岩は新しく、コケなどは全くなく、水生昆虫も見られない) に 12 個 (餌ウグイ)。

(114) 【57788】。

(115) 【57793】。

(116) 【57789】。

(117) 【57790】。

(118) 【57791】、【57792】。

(119) HUNHM 所蔵標本に当該日採集のアカネズミなし。

(120) 【57794】。

- 11月2日：(9) カワネズミ 0。(10) 愛媛・面河村仁淀川水系、面河川源流、MC5033-4181, alt. 1,080m の広葉樹カバー良く、岩の多い Aa 型川（幅 2-3m で、岩はきれいで水生昆虫は見られない）に 7 個。(11) 同、面河村仁淀川源流、番匠谷、MC5033-4192, alt. 1,450m の広葉樹カバー良く、岩の多い Aa 型急流（きわめて良好な環境）に 10 個（餌アジ）。
- 11月3日：(10)、(11) カワネズミ 0。面河一大洲市へ。(12) 大洲市阿蔵水田横ヒノキ林、MC5032-2412 にヒミズ用パンチュウ 5 個（餌干しチカ、ピーナツバター）、(13) 大洲市阿蔵、スギ林縁、MC5032-2421 にパンチュウ 9 個セット。(14) 同、スギ林、MC5032-2422 にパンチュウ 3 個、(15) 同、別のスギ林にパンチュウ 4 個、(16) 大洲市只越分岐、スギ林、MC5032-2422 にパンチュウ 7 個（コウベモグラ穴あり）、(17) 同、別のスギ林に 9 個、(18) 大洲市打越ヒノキ林、MC5032-2420 にパンチュウ 9 個、(19) 同、クリ林に 3 個セット。夕方に (13) ヒミズ 1⁽¹²¹⁾、(14) ~ (16) でヒミズ計 4⁽¹²²⁾。
- 11月4日：(14) ~ (17) でヒミズ 12⁽¹²³⁾、(18) ヒミズ 1⁽¹²⁴⁾。大洲一佐多岬（ヒミズ採集目的）。(20) 愛媛・瀬戸町田部、スギ・ヒノキ林にパンチュウ 5 個（餌干しチカ、ピーナツバター）。(21) 同、瀬戸町高茂、MC5032-1115 に 3 個、(22) 同、大久ミカン園横、MC5032-0184 に 2 個、(23) 同、三崎町二名津、MC5032-0161 に 7 個、(24) 同、二名津小屋横、畑・スギ林、MC5032-0161 に 3 個、(25) 同、三崎町阿弥陀池付近に 8 個。夕方、(20) でヒミズ 1⁽¹²⁵⁾。海岸にイソヒヨドリ多い。三崎町正野金沢旅館泊。
- 11月5日：(23) ヒミズ 1⁽¹²⁶⁾、(24) アカネズミ 1⁽¹²⁷⁾、(25) 0。(26) 瀬戸町高茂スギ林河畔、MC5032-1115 にヒミズ用パンチュウ 12 個。イノシシのヌタ場とイノシシ道あり（写真）。(27) 三崎町二名津入り口、スギ林、MC5032-0172 にパンチュウ 11 個。キビタキ（スギ林内）、ジョウビタキ多い。夕方、(26) でヒミズ 1⁽¹²⁸⁾（ワナ引き上げ）、(27) ヒミズ 1⁽¹²⁹⁾（ワナ 8 個はそのまま置く）。三崎、えびすや旅館泊。
- 11月6日：(27) ヒミズ 0、アカネズミ 2、ヒメネズミ 1（標本作らず）。8：00 発、佐多岬から島なみ街道一山陽道一中国道を経て 16 時過ぎ山口・萩へ。萩、厚生年金会館ウエルハートピア萩泊。
- 11月7日：9：20 発、見島行きフェリーに乗り、11：10、見島、本村着。(28) 見島本村水田横、ススキ・スギ・灌木のブッシュ、MC5231-1111 にパンチュウ 20 個（餌干し魚、ピーナツバター）セット。夕方、見回り、ヒミズ 0。農家の人の話ではモグラはおらずヒミズのみ。1.5m 大と小型のアオダイショウ目撃。
- 11月8日：(28) ヒミズ 3⁽¹³⁰⁾、(29) パンチュウ 47 個セット。夕方、ジネズミ 1 頭がとれたが生きていて逃げられる（コンクリート U 字溝の 25cm の壁を這い上がり逃げた）。ササ地にてヒミズ 1⁽¹³¹⁾ 採集。
- 11月9日：スギ林とササ地にてヒミズ 6⁽¹³²⁾ 採集。水田横の石垣などではとれず、落葉層のある湿った所でとれた。海荒れ、船出航せず。泊まり。(30) スギ林、ササ地などにパンチュウ 24 個セット。夕方にヒミズ 4⁽¹³³⁾ 採集。トラップミス 2。ワナ回収。見島には山地尾根などに一部、照葉樹などの林が残るが、大部分の斜面は水田その他の耕地となっており、土壌が発達している。モグラがおれば棲息出来る環境は充分ある。水流も方々にある。但し、林地内地表は大変乾燥しており、落葉層も少ないので、ヒミズの棲息できる場所は比較的少なく、山道横の溝に堆積した落葉の下やスギ林中の落葉や倒木のある所、竹林（メダケ）中の落葉が厚く堆積したところなどにのみ棲息している。
- 11月10日：見島 8：00 発一萩。山口高速道にて 16：00、境港着。さかいみなど泊。

(121) 【57799】。

(122) 【57795】、【57796】、【57797】、【57798】。

(123) 【57800】～【57811】。

(124) 【57812】。

(125) 【57813】、調査地 (20) の MC は 5032-1104 である。

(126) 【57814】。

(127) 【57845】。

(128) 【57815】。

(129) 【57816】。

(130) 【57817】、【57818】、【57819】。

(131) 【57820】。

(132) 当該日採集のヒミズは【57821】～【57830】の 10 個体。後掲注 (133) の 4 個体が含まれるなお、標本の採集地はすべて「竹林」となっている。

(133) 前掲注 (132) 参照。